



平成21年度
東北大学男声合唱団OB会
東京支部総会報告書

ごあいさつ

東京支部長 春日 健

このたび、60余名の皆さんのご出席を得て、東京支部総会を開催する運びとなりましたことを大変うれしく思います。

ふりかえりますと、私は2005年（平成17年）12月の総会において東京支部長を仰せつかりましたが、時の経つのは早いもので、以後4年の間、OB各位のご協力をいただきながらお陰さまでその任を務めることが出来たことに安堵いたしております。

まずはOB会を楽しい参加型の会にしたいという思いを形に表すべく、役員各位の力を借り、多くのOBの参加を得て、2007年6月に東京大学OB合唱団「アカデミカコール」の演奏会に京都大学グリークラブと共に賛助出演をしましたが、わが東北大学男声OB合唱団のステージが面目を遺憾無く発揮することが出来たのは大きな喜びでした。

続いてその年の8月、東北大学創立百周年記念コンサート並びに式典に参加するためにOB有志が仙台を訪れました。そして、在仙のOB諸氏や現役諸君と共に祝典曲を声高らかに歌って記念行事に花を添えましたが、同時に仙台支部との連携を強めることが出来ました。これを契機に、現役諸君との交流も深まり、定演支援のカンパや援助が軌道に乗り始めました。

また、同年11月、創立百周年に合わせて、東京・仙台の両支部関係者の努力で「学生歌集」を刊行できましたのも画期的なことでした。

そして本年6月、名古屋大学男声東京OB合唱団と横浜国立大学グリークラブOB合唱団の参加を得て、東北大男声OB合唱団との3校によるジョイント演奏会「男声合唱の響演」を主催して成功に導いたOB会の結束力は見事であったと思います。

お陰さまで、こうした活動が実を結び始めて、次のジョイント演奏会の話が持ち上がり、仙台支部とタグマッチを組んだ川内の萩ホールコンサート企画が出され始めておりますのも誠にうれしいところです。

この総会を以って私は支部長の任を新しい方にバトンタッチしたいと思います。4年間、非力な支部長を支えてくださいましたOBの方々と役員の方々のご協力に心からお礼を申しあげます。ありがとうございました。

本日は、別途の、会次第に従い、会を進めますが、今回はみんなで歌えるようにと歌集を編集しましたので、第2部以降は大いに歌って楽しもうではありませんか。

東北大学男声合唱団OB会東京支部総会 次第

2009年11月28日(土) 如水会館

「青葉もゆるこのみちのく」合唱

指揮

末光眞希(50)

12:30

司会 東京支部事務局 小松正佳(46)

第1部 総会

1 開会

2 支部長挨拶

春日支部長(39)

3 議長選出

4 活動報告 (1) 百周年記念歌集の発行

事務局小松正佳(46)

(2) 3大学ジョイント

(3) 現役への支援

(4) ホームカミングデイ行事参加

5 会計報告 (1) 会計報告

小松

(2) 監査報告

堀越(40) 会計監事

6 報告 OB会ホームページ活用状況について

松本(41)

7 東京支部役員改選について

選出方法について

春日支部長(39)

役員候補 支部長 生馬洋(40) 新任、事務局長 小松正佳(46) 留任

幹事 北林均(44) 留任、長崎文康(49) 新任、嵯峨秀夫(57) 新任

HP管理: 松本壽浩(41) 留任、会計監事 石川幸良(45) 新任

8 今後の活動について (1) 東京支部 新役員挨拶

(2) 活動の方向について

9 中締め

小松

13:00

第2部 懇親会

司会: 事務局小松正佳(46)

乾杯

音頭

泉山行雄さん(26)

13:10

* 乾杯の歌

* 歓談

* 年次別、参加者ご紹介と近況報告

* グループによる合唱披露

藤沢の会

エドモント会

41±α

明月館の会 など

第3部 出席指揮者の指揮による愛唱歌全員合唱

14:00

(歌集をもとに、歌いましょう)

収録曲

歌え若人・Das Lied・Standchen

乾杯の歌、野ばら、遥かな友に

「月光とピエロ」より 「1月光」、「2秋のピエロ」

「富士山」より 「作品第壹」

「柳川風物詩」より 「柳 河」

ゴッホ名曲より「Soon Ah Will Be Done」

宇宙戦艦ヤマト など

記念撮影(全員集合)

「青葉もゆるこのみちのく」 肩を組み合唱

閉会

15:50

卒年	年次会・グループ	学年委員	人数	指揮者	委員長
S26		泉山行雄 小嶋明	2		
27		伊藤愛二	1		
28		吉川 章	1	仁科博之	雄山 厚
29		仁科盛夫 石川恭久 佐藤 淳 米澤 誠	4		藤山祐司
30				戸田晴男	児玉 晃
31				松永 昌	
32				新田昭夫	高橋良博
33	藤沢の会	杉山博昭 杉山博昭 小関洋 小関康雄	3	岡崎光治	柴田耕一
34	(35石山鉄夫)	小島 修 大村和夫 篠崎長英 小島修	3	日下昭夫	小島 修
35		與田豈久 與田豈久	1	佐藤泰平	新井浩三
36		柴田徹一 柴田徹一	1		(阿部光雄)
37		坂水久之 坂水久之	1	佐藤啓司 坂水久之 寺島光彦	松野済美
38	イトモトの会	加藤松生		小川 正 加藤松生	波多野康男
39	(39清水廣行)	春日 健 藤田紀夫 春日 健	2	石丸路芳	藤田紀夫
40		堀越英輔 生馬 洋 出雲義郎 堀越英輔	3	引地信昭	生馬 洋
41	41±α (41曾川寿夫)	阿部幹男 阿部幹男 菅野哲男 松本寿浩 曾川寿雄 矢内節佳 竹内一夫 勝浦孝彦	7	(佐々木正吾)	山田幸二
42		黒田比佐雄 黒田比佐雄 堀内健太郎 太田敬久 大木芳男 小原悦男 小野田充利	6	平栗愷史	堀内健太郎
43		吉田恵光 寒河江昭夫 菅原敏行 畠山博臣 吉田恵光	4	中川睦雄	石井隆一
44	(44北林均)	北林 均 黒岩晃一 北林 均 長澤孝雄 熊谷 晃 山本寛	5	熊谷 晃	横澤行夫
45	明月館	石川幸良 永井潔 石川幸良	2	舟生俊夫	永井 潔
46		小松正佳 小松正佳	1	(川上 享)	白田正善
47		菅野 博 菅野博 高橋正厚 瀬野俊樹 鈴木健	4	菅野 博	永井文照
48		杉田賢一 小暮義雄、宇野研一	2	白田正樹	杉田賢一
49		池口康夫 長崎文康 赤星晴夫 池口康夫	3	岩淵秀俊	赤星晴夫
50		赤崎宏雄 赤崎宏雄 末光真希 平賀啓二郎 田辺英男 神谷 光昭	5	末光真希	赤崎宏雄
51		神保 裕	1	瀬戸 健	橋本義恭
52		香門浩一		須田信男	岡部洋實
53		倉澤由和		小山昌人	西河由紀夫
54	トハ・イ・メリアス	福井宗利		加藤旨彦	福井宗利
55	(57古館 仁)	中山卓郎		佐川元保	木村典夫
56		川浦立志		野沢幸俊	武藤圭一
57		古館 仁 嵯峨秀夫 古館仁	2	嵯峨秀夫	虹川大樹
58		大石 匡		内藤隆史	小池正士
59		國田武邦		菊地 孝	西河 茂
60		多勢伸一	0	小幡 篤	五味淵聡志
61				小林 直	石井伸一
62				福島 順	木島一郎
63	たぬきの会	菊地和彦	0	菊地和彦	大子田誠也
H 1	(63菊地和彦)			渡辺康二郎	富樫秀一
2				中尾 良	内木 悟
3				大久保孝義	長谷部 幹
4		中原祐輔 中原祐輔	1	中原祐輔	佐藤 巨
5				坂本 茂	真田健治
6	コルパッサ			村田和也	鈴木章久
7				宮川和也	稲葉 聡
8		中西秀高		三浦 淳	中西秀高
9		中屋重光	0	湯浅貴夫	中屋重光
10					
11				八嶋洋行	山崎大輔
12					小林昌俊
13				渡辺俊介	古角雄高
14				牧野裕介	佐々木知穂
15				三木俊也	山本揚二郎
16					渡辺正大
19		岩村圭祐	0	岩村圭祐	
斜太字氏名は当日出席の指揮者 総数			63		

東北大学男声合唱団OB会平成 21年度会計報告

自平成19年10月1日至平成21年9月30日(単位:円)

収入の部		支出の部	
適用	金額	適用	金額
前期繰越金	149,885	総会関係支出	450,450
会費収入	826,880	総会費	445,450
総会会費	413,000	伴奏	5,000
通常会費	413,880	通信費	94,780
歌集等賛助金	34,300	一般通信費	58,140
歌集	26,380	演奏会支援	36,640
CD	7,920	文具費	8,340
臨時練習会場費	23,000	文房具など	8,340
55回現役定演賛助	23,000	印刷費	161,051
演奏会剰余金	65,218	百周年歌集	134,231
分配金	30,000	東北大名歌CD	19,155
剰余金	35,218	一般印刷	7,665
		HP管理費	13,600
		HP管理費	13,600
		会議費	30,400
		学年会	30,400
		練習会場費	20,475
		55回現役定演賛助	20,475
		交通費	880
		歌集運搬費	880
		仙台支部へ	50,000
		会費の振替	50,000
		現役支援金	50,000
		20年実施分	20,000
		演奏会招待	30,000
		手数料	1,630
		印字サービス等	1,630
		次期繰越金	217,677
合計	1,099,283	合計	1,099,283

備考

- 1、管理口座が無利息のため、利息の入金はありません。
理由:郵便振替口座が会費集金の際、手数料も安く、扱いも便利のため。
- 2、仙台支部への振替は、百周年歌集送付時に会費振替用紙を同封し
仙台地区のOBから入金があったものを、振り替えたもの。

上記のとおり、ご報告致します。

平成21年10月16日
会計 小松正佳

監査報告書

提出された帳簿、帳票、伝票類をもとに厳正に監査した結果
上記会計報告は適正であると認めます。

平成21年10月25日
会計監事 堀越英輔 堀内健太郎

東北大学男声合唱団OB会東京支部 活動報告

(2007年10月～2009年9月)

1、執行部主催の活動

(1) 東北大学創立百周年記念歌集の発刊

清水仙台支部長がまとめた「東北大学学生歌について」を中心に、編集に着手。
学生歌全曲、旧制高校・男声合唱団伝統の歌を収録し、西澤潤一氏の言葉をいただき発刊。
発刊日2007年11月18日、部数 300部

(2) 3大学ジョイント(梅雨の晴れ間に 2009)

経緯

東大アカデミカコール賛助を経験し、大学OB合唱団との交流を持つことの意義を感じました。
小野田さんのルートで名古屋大学との交渉をすすめ、品川の「きゅりあん」を2009年6月27日(土)
でおさえたことにより、一気に具体化しました。

2008年7月3日に学年委員会を召集し、ジョイント演奏会の支持をいただきました。
組み合わせは、若干難航しましたが、DGKの盟友、名古屋大学、横浜国大でまとめられました。

成果

「交流の時、ふたたび」というテーマは、3団体の結束を生み、合同会議も円滑に進みました。
チャイコフスキー歌曲集の選曲は、その高い音楽性に引き込まれ、聴く人に訴える演奏を実現できました。
坂水氏(37)主導の、技術系連携の指導体制は、今後の演奏会推進方法にあたらしい基盤を固めました。

2、現役への支援

(1) 第55回定期演奏会 賛助出演

節目の演奏会として、OB・現役合同ステージ「富士山」に賛助。(2007年12月22日(土))
指揮：末光眞希。東京から20名参加。カンパ10万円支援。

(2) 第56回定期演奏会 支援

会計から、2万円支援。
カンパ実施：25名、9万円。(現役とOB会の支援ルートが滞っているとの指摘あり実施)

(3) 3大学ジョイントへの現役招待

会計から、3万円支出し、2名招待。

3、ホームカミングデイ企画演奏会賛助出演

国立大学は、独立行政法人移行後、OBとのつながりを深めるため、ホームカミングデイに
力をいれています。東北大学は、10月10日前後に行事を開催しています。

今年は、10月11日(日)萩ホールで、演奏会が開かれました。

第3ステージの戸田靖男氏(30)指揮の「月光とピエロ」に、男声OB・現役の合同で出演しました。

東京からは、坂水氏(37)の下練習を経て、14名が参加しました。

「月光とピエロ」を東北で初めて演奏した戸田氏の熟した指揮のもと、40名の心のあった演奏は
萩ホールの聴衆から大きな拍手をいただきました。

熟したる 想いタクトに こめて振る

ともがら 相和す 舞台は熟し

4、規約運用上の確認点

東北大学男声合唱団OB会規約 第5章幹事及び委員、第12条第6項

：「支部長は副会長を兼ねることができる。」を運用したい。

理由

仙台・東京の支部長が、OB会副会長であることを確認し、会長の立場を明確にしたい。

本件は、仙台の清水支部長に内諾をいただいております、本会にて、ご承認いただき、OB会運営に適用したい。

以上

東北大学男声合唱団OB会東京支部総会 議事録

平成21年11月28日(土) 如水会館

- 1 支部長挨拶 配付済みの「あいさつ」の内容の話があった。
- 2 議長選出
支部長が、阿部幹男さんを推薦し、承認された。
- 3 活動報告 事務局長小松が、資料に沿って報告。
規約運用上の確認点
「支部長は副会長を兼ねる」ことを確認。
趣旨：仙台、東京の支部長が、OB会副会長であることを確認し、
その上に会長がすわることを確認。
- 5 会計報告 (1) 会計報告 小松が資料の内容を報告
(2) 監査報告 堀越(40) 会計監事が報告
- 6 報告 OB会ホームページ活用状況について
HP管理を担当する松本さんより報告
- 7 東京支部役員改選について
選出方法について
春日支部長が、下記役員候補を紹介し、承認を問う。
役員候補 支部長 生馬洋(40) 新任、事務局長 小松正佳(46) 留任
幹事 北林均(44) 留任、長崎文康(49) 新任、嵯峨秀夫(57) 新任
HP管理：松本壽浩(41) 留任、会計監事 石川幸良(45) 新任
出席者の承認を得た。
- 8 今後の活動について
(1) 東京支部 新役員挨拶
生馬新支部長挨拶
(2) 活動の方向について
ア、小松事務局長より
ジョイント等の案があり、12月13日(日)に幹事会で議論することを報告。
イ、末光さんより発議
ニューヨーク公演についてのアウトラインを発議
時期：2011年5月連休 予算：30万円
男声OBを中心に組織。団長：末光、ニューヨーク：白田正樹
世話役：東京、大島、白田、仙台：水野、舟生 など
(本日は、概要の発議のみ)
- 9 中締め

小松

13:00

懇親会 記録

1 乾杯

泉山行雄さん(26)の音頭で乾杯

2 名簿修正について

今回、26年卒の小嶋明さん(経済)が出席されました。小嶋さんは名簿の住所不明の状態が続いたため平成4年の版で整理になり、これを引き継いだOB会名簿からもれることになりました。

佐藤淳さん(29)から本会の連絡をまわしていただき、ご出席となりました。

NHKご退職の後、イタリアに音楽留学をし、ヴェルカントを修め、現在も現役の歌手です。

3 大先輩からのお話

仁科盛夫さん(29)：永く歌える秘訣をお話いただき、「追分」の詠唱をご披露いただきました。

吉川章さん(28)：日本の教育改革を進める会の成果をまとめられたことをお話いただきました。

吉川さんは富山の旧制魚津中学卒とのことを事務局が気づき、45年の永井潔さんは後輩にあたりますと、ひきあわせることができました。

4 年次別の出席者のご紹介

20年代 8名、30年代 8名

あいだを飛ばして、平成年代1名、57年2名

時間の都合で、39年、40年代、50年の皆様のご挨拶は、飛ばさざるをえなかったのは残念です。

5 現役の活動状況

末光さん(50)より、現役の活動状況を話していただきました。(男声合唱部長の境田さん(50)は出席の予定でしたが、前日に悪寒におそわれ、大事をとって欠席になりました。)

12月5日(土)の現役定期演奏会に、お祝い2万円を贈ることとし、生馬新支部長から、末光さんに托しました。別途、カンパも呼びかけ。

6 藤沢の会の演奏

20年代、30年代のOB組織「藤沢の会」の演奏を聴きました。

7 愛唱歌の全員合唱

用意した歌集の中から、順次合唱しました。

今回出席の歴代指揮者(敬称略)

坂水(37)、熊谷(44)、菅野(47)、末光(50)、嵯峨(57)、中原(H4)

多くの出席となりました。

8 番外：菅原さんより、明月館の会の開催予定の告知がありました。来年4月中旬の土曜日を予定。

会計締め

収入	総会会費	423,000
	年会費	126,000
	計	549,000

支出

室料、料理	421,330
サービス料、税	65,306
計	486,636

残金 62,364

サービス料・税の分は、ジョイント益金を当てたとご理解下さい。

東北大学男声合唱団OB会、合同委員会議事録

日時：1月24日、13:00～15:30

場所：東北大学電気通信研究所、末光研究室

趣旨

東京、仙台との活動を一体化するため、幹事が顔をあわせて、協議する場を持つというもの。

会議メンバー

仙台：清水支部長以下、水野、末光、引地、舟生、境田の皆さん。

東京：生馬支部長、小松

司会：清水仙台支部長 書記：小松

議事

1、東京支部総会の内容報告

支部長はOB会の副会長になることの狙いを説明し、了解を得ました。1・15に刷り上げた会報を持参。清水支部長より、東京のHPの内容が古いので逐次記録するよう指摘されました。

今回は、東京支部総会としたが、今後は合同の形がいいのではないかと。

百周年記念歌集について、清水支部長から、発行後の反響について、話がありました。

「史料館に収めたこと。この歌集により、忘れられていた学生歌に気づき、昨年のホームカミングデイのステージに採り上げられたことが成果として認められる。」と。

2、OB会費の徴収について

仙台支部は、北海道、東北6県居住会員の会費を徴収するものとし、その他地区に関しては東京支部が担当することを確認しました。

3、現役への支援について

昨年の定期演奏会の状況は、お客様が100名程度ではなかったか。

団員は16名。

(1) OBあての現役定演への案内の方法をここではっきりさせました。

現役委員会は、演奏会の前に、各支部あて、それまでの活動状況の報告を添えて、チラシ、チケット郵便振替用紙を送る。これを各支部でOBあて配布し、応援を募るということにする。

(2) 新入生歓迎活動の支援

現在、立看板もない。今年は、特別カンパを行って、立看板費用、新人歓迎接待費を支援したい。東京も帰ってカンパの具体策を考える。

なお、長男が男声に在籍した水野さんからは、OBは金を出すだけで、口は出してはいけないと意見が出ました。

4、ホームカミングデイとの関わり

文化部長として、かかわりのある末光さんより、今後の方向を話していただいた。

問題点は「ホームカミングデイ」のコンセプトがはっきりしないことにある。一方、スケジュールは硬直的にきまっているものがあり、全体を見渡す運営体制になっていない。昨年は、行事の案が出てくるのが遅く、参加団体の調整が大変だった。今年は、まだ具体的なものはでていないが、男声OBには応分の協力をお願いしたいとの発言がありました。

5、ニューヨーク演奏会の件

この話の発端は、岡崎さんと白田正樹さんの間でもちあがったものとのこと。

2011年5月の連休に、岡崎さんの指導団体から有志を募って、「カーネギーホール」で演奏会ができないか、という構想がでてきたようです。末光さんから、取り組み方向の話がありました。

興業の旗印として、「東北大学」の名前が有効で「東北大学男声合唱団創立60周年特別企画」合唱団「萩」という案がでている。

1月末位に、白田さんより、演奏会の演目の具体案が出てくる予定。

これをベースにして、予算も公示して、広く参加者を募る手はずで考えている。

6、東北大学男声合唱団創立60周年行事

(1) 記念演奏会

ホームカミングデイの企画に入れてもらう方法もあるが、それとは切り離して、

2011年8月下旬に仙台で大演奏会を開くという線で検討したいということになりました。

合同ステージというより、地区、年代でステージを組んで参加する方式がよいのではないか、というのがここで出た方向です。

(2) 演奏音源の整理

50周年の事業で、音源のデジタル化というものがあり、引地さんにご努力いただき集まった山のようなテープから、ディスクにまとめました。

次に、これを内容をカタログ化して、演奏会ごとに編集するという課題がのこっています。別途方法を考えようということになりました。

以上が議論の内容です。

あらためて、両支部役員が、顔をあわせて協議する意味を感じました。

末光研究室は片平丁にありますので、早めに行って、構内を回りました。北門あたりは変わっていませんが、他はほとんど当時の姿は失われていました。経済学部管理棟は残っており、会計専門大学院が使っているようでした。40年という月日が経っており、やむをえないところもありますが、シンボルとなる建物を保護し、景観を維持するという考え方は重要と思いました。

会議後、席をかえて懇談しました。

以上

記録：小松正佳

合唱の心に通じる漢詩をみつけました。

拙齋先生に贈る 菅 茶山

聯翩たる雲中の鶴 載ち飛び載ち和鳴す。

君と生れ世に並び 又同社の盟を辱うす。

琢切し頑魯を勵まし 麗沢は晦盲を啓く。

曲蓬も叢麻に依らば矯めずしてその莖を直くす。

採葵は古より箴あり 附驥 豈に情なからんや。

恐るる所は疎慵の性 君の訓告の誠に孤かんことを。

菅茶山の兄弟子西山拙齋に贈るものとのこと

中段の「麗沢」は易経にある言葉で「連なる

二つの沢が互いに潤しあう様を言い、友人同志が勵ましあつて勉学に努める意味」と。

自分と友を雲の中に相舞う鶴にたとえて、同

門に学ぶ友との切磋琢磨、勉勵を吐露し、

麗わしい沢の交わりはみるみる学問の扉を開

いていく喜びを詠います。

曲がつて生える蓬も直生の麻に依つて直伸し

てきた。才ある友を手本としてなんと感慨深

いことか。自分の怠惰な性分が貴兄の誠のこ

もる教えを裏切らないかと恐れている、と。

心をおわせる原点を感じます。